

鹿児島キャリアデザイン専門学校 令和元年度自己評価表

1 教育理念

深い人間愛の精神を基調として、人間尊重の理念に基づいて人格の形成を目指し、豊かな人間性と教養を備え、常に進歩し多様化するさまざまな分野のニーズに応えられる有能な人材を育成する。

2 教育目標

本校は、日々高度化する技術革新に対応できる知識と技術を備えた工業分野での人材の育成、時代のニーズに応えられる実践的で有能なクリエイターなど文化・教養分野での人材の育成、商業実務・医療秘書・医療事務に的確に対応できる商業実務分野での人材の育成、保育・幼児教育において社会の多様化したニーズに的確に対応できる教育・社会福祉分野での人材の育成、及びビューティ業界やプライダル業界で活躍できる優れた技能や有能な知識を備えた衛生分野での人材の育成、ならびに豊かな人間性と創造性を有する国際性豊かで実践的な人材の育成を行うことを目的とする。

3 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- (1)職員の研修について、専門分野においては各科にて取り組んでいるが、業種によって開催場所や頻度等ばらつきがあり、また、日程も関係して等しく職員が研修を受けられていない状況がある。各科にて更なる情報収集を行い、業務の調整を行いつつ、積極的に研修に参加するよう努めていく。また、学校としては職員全体に係る研修を行っているが、今年度は特に資質向上や能力開発のための有意義な研修が開催できるよう、計画・実施に取り組む。(教育活動)
- (2)コンプライアンスについては、全職員に改めて学園就業規則を周知し、服務規律の徹底を図り、職員一人ひとりが社会的規範や倫理を遵守しながら教育活動を行っていく。また、本年度から財務状況に加え、事業報告や財産目録等を公開し、開かれた学校運営を目指す。(学校運営)
- (3)これまで避難訓練は火災を想定したものが中心だったため、鹿児島県や鹿児島市の最新のハザードマップ等を活用し、学園本部や姉妹校とも連携を図りながら、地震や浸水等、様々な災害を想定した危機管理対策の検討を進める。(教育環境)
- (4)個人情報保護に関しては学校から学生に対しての対策は行っているが、学生間での個人情報保護(SNS使用時等)についての対策の必要性を感じる。職員一人ひとりの更なる意識向上を図るとともに、各学科ごとの授業に即した、学生への啓蒙活動・教育に努める。(法令等の遵守)

4 評価項目の達成および取組状況

(1) 教育理念・目標 4 大変評価する 3 やや評価する 2 やや不十分 1 不十分 該当なしは空欄

	評価項目	評価
1	学校の理念・目的は定められているか	3.8
2	社会のニーズ等を踏まえた学生の将来構想を抱いているか	3.3
3	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3.1
4	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3.3
課題	「心の持ち方を共に学ぶ」という学園理念のもと、「専門性を高め、当たり前が当たり前でできる人材」の育成に日々努めているが、関係業界の様々な業態に対応できるような柔軟性が必要である。	
改善策	学校評価委員会と教育課程編成委員会を通じた関係業界との更なる連携強化を図るとともに、社会の多様化に即応できる人材育成に努める。また、そのことを踏まえ、機会あるたびに学生・保護者等への発信を今後も継続していく。	

(2) 学校運営

4 大変評価する 3 やや評価する 2 やや不十分 1 不十分 該当なしは空欄

	評価項目	評価
1	学園の運営方針に沿った事業計画が策定されているか	3.3
2	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3.2
3	人事、給与に関する規程等は整備されているか	3.1
4	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3.4
5	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.3
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営に対する教職員の意識は徐々に高まりつつあるが、全体的に不十分である。 ・人事、給与に関する規定等は整備されているが、職員に対する周知が不十分である。 	
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・個々人では意識されているが、地域に根ざした特色ある専門学校を構築すべく、学校全体の事業計画および各学科の年間計画をより意識した取り組みを推進する。 ・就業規則については、働き方改革に伴う2020年度の規則改定に伴い、学園本部職員による説明会を実施し、職員への周知を行った。また、規則や規程等については、新たに作成、または改定の都度、電子媒体等で周知を図るとともに、いつでも閲覧可能とし、利便性の向上を図った。 	

(3) 教育活動

4 大変評価する 3 やや評価する 2 やや不十分 1 不十分 該当なしは空欄

	評価項目	評価
1	業界のニーズに沿った教育課程の編成を行っているか	3.2
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3.2
3	学科等のシラバスは体系的に編成されているか	3.3
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3.2
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3.1
6	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	3.3
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	3.2
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3.4
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.6
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.2
11	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	2.9
12	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3
課題	専門学校として、各学科に即応した先端技術等を修得するための研修や、資質向上のための取組みが不十分である。	
改善策	各科、系統ごとに参加したい研修等を明確にし、年度始めに研修計画を作成する。また、年度途中で告知のある研修や講演会等についても、知識・技能の習得に有益なものである場合、柔軟に対応し、可能な限り学びの機会を増やすよう努める。	

(4) 学修成果 4 大変評価する 3 やや評価する 2 やや不十分 1 不十分 該当なしは空欄

	評価項目	評価
1	就職率の向上が図られているか	3.7
2	資格取得率の向上が図られているか	3.2
3	就職先企業を訪問するなどして卒業生の実態を把握しているか	3.4
課題	おおむね良好である。	
改善策		

(5) 学生支援 4 大変評価する 3 やや評価する 2 やや不十分 1 不十分 該当なしは空欄

	評価項目	評価
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.9
2	学生相談に関する体制は整備されているか	3.3
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3.6
4	課外活動に対する支援体制はあるか	3.2
5	経済的支援制度利用についての情報提供を行っているか	3.4
6	必要に応じて保護者との連携が図られているか	3.1
7	卒業生への支援体制はあるか	3.5
8	高等学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3.4
課題	・就職に関する支援体制は整備されているが、卒業学年で就職を希望しない学生や就職活動に消極的な学生への支援の在り方に、更なる工夫が必要である。	
改善策	・就職活動に消極的な学生には、インターンシップ等を勧め、「職業観」、「勤労観」の高揚に努めていく。	

(6) 教育環境

4 大変評価する 3 やや評価する 2 やや不十分 1 不十分 該当なしは空欄

	評価項目	評価
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	2.9
2	学内外の実習施設、インターンシップ等について十分な教育体制を整備しているか	3.2
3	防災訓練を定期的実施しているか	3.3
課題	校舎の老朽化に対し、学生の満足度向上をどのように図っていくか検討する。	
改善策	令和元年度は本館、マルチホールの教室等の蛍光灯照明をLED化し、省エネと学習環境の整備に努めた。まだLED化されてない多種多様な照明については、段階的にLEDと交換する計画である。	

(7) 学生の受け入れ募集

4 大変評価する 3 やや評価する 2 やや不十分 1 不十分 該当なしは空欄

	評価項目	評価
1	学生募集活動は適正に行われているか	3.5
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.4
3	授業料等、徴収する金額はすべて明示しているか	3.8
課題	おおむね良好である。	
改善策		

(8) 財務

4 大変評価する 3 やや評価する 2 やや不十分 1 不十分 該当なしは空欄

	評価項目	評価
1	学校の収支のバランスは取れているか	2.7
2	予算編成は教育目標・業務計画と整合性があるか	3.1
3	財務について会計監査を適切に実施しているか	3.3
4	財務の情報公開はされているか	3.4
課題	・限られた学校予算の中で、学科間の予算配分に苦慮している。	
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・学習に必要な機器等の購入(入替)については、学科間で年度が重ならないよう、3~4年後を視野に入れ、時代に即した環境を整える。 ・財務の情報公開に関しては、今後も学園本部(財務担当)と連携しながら公開する。 	

(9) 法令等の遵守 4 大変評価する 3 やや評価する 2 やや不十分 1 不十分 該当なしは空欄

	評価項目	評価
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.4
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.2
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3.4
4	自己評価結果を公開しているか	3.6
課題	個人情報の取扱について、各個人の意識が十分とは言えない場合がある。	
改善策	個人情報の取り扱いに特化した学内の研修会を実施する。	

(10) 社会貢献・地域貢献 4 大変評価する 3 やや評価する 2 やや不十分 1 不十分 該当なしは空欄

	評価項目	評価
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.3
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	2.7
3	地域に対する公開講座やイベント支援等を積極的に実施しているか	3.3
課題	ボランティア活動の奨励、支援に対しては実施しているが、取り組みについては、学科間でばらつきがある。	
改善策	学生が積極的にボランティアに取り組んでいけるよう、学科間で連携を図りながら、協力していく。	

(11) 国際交流 4 大変評価する 3 やや評価する 2 やや不十分 1 不十分 該当なしは空欄

	評価項目	評価
1	留学生の受け入れを行っているか	3.5
2	留学生の受け入れ、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	3.4
3	留学生の学修・生活指導等が適切に行われているか	3.2
課題	おおむね良好であるが、留学生受け入れの為に広報体制がやや不十分である。	
改善策	広報体制については、学園本部(経営企画室)と連携しながらの抜本的な見直しが必要である。	